

# neo-brain OPEN HOUSE 1/23sat-24sun vol.98

二つの中庭(コート)を持つ平屋住宅 ©ポーラスターデザイン一級建築士事務所：長澤 徹

敷地を最大限に活用してできるだけ広々とした住宅に住みたい。このような誰もが持つ理想と現実を読み解き形にしていくのが設計士としての役割となります。これには様々な回答、解答があり、お施主様によって設計士によってさまざまな提示提案があると思うのですが、設計士の私がひとつ持っている方法が屋外空間の積極的な利用です。つつい屋内空間を広く床面積を増やせば快適に過ごせると思われがちですが、実際に屋内と屋外の床レベルを揃えて空間をつなげ、視界をのびやかに解放すれば屋内と屋外は一体となります。コートハウスに代表される屋外の屋内化という方法は様々な展開があり、私自身も試行錯誤を繰り返しながらの毎日ですが、ある一定の理解のあるお施主様に対しては非常に共感をえられる回答となっているのも経験としての事実でした。ただコートハウスという閉鎖的な方法に思われてしまいがちですが、定義的には「囲われた屋外空間」という部分の総称の様に扱ってもらえ

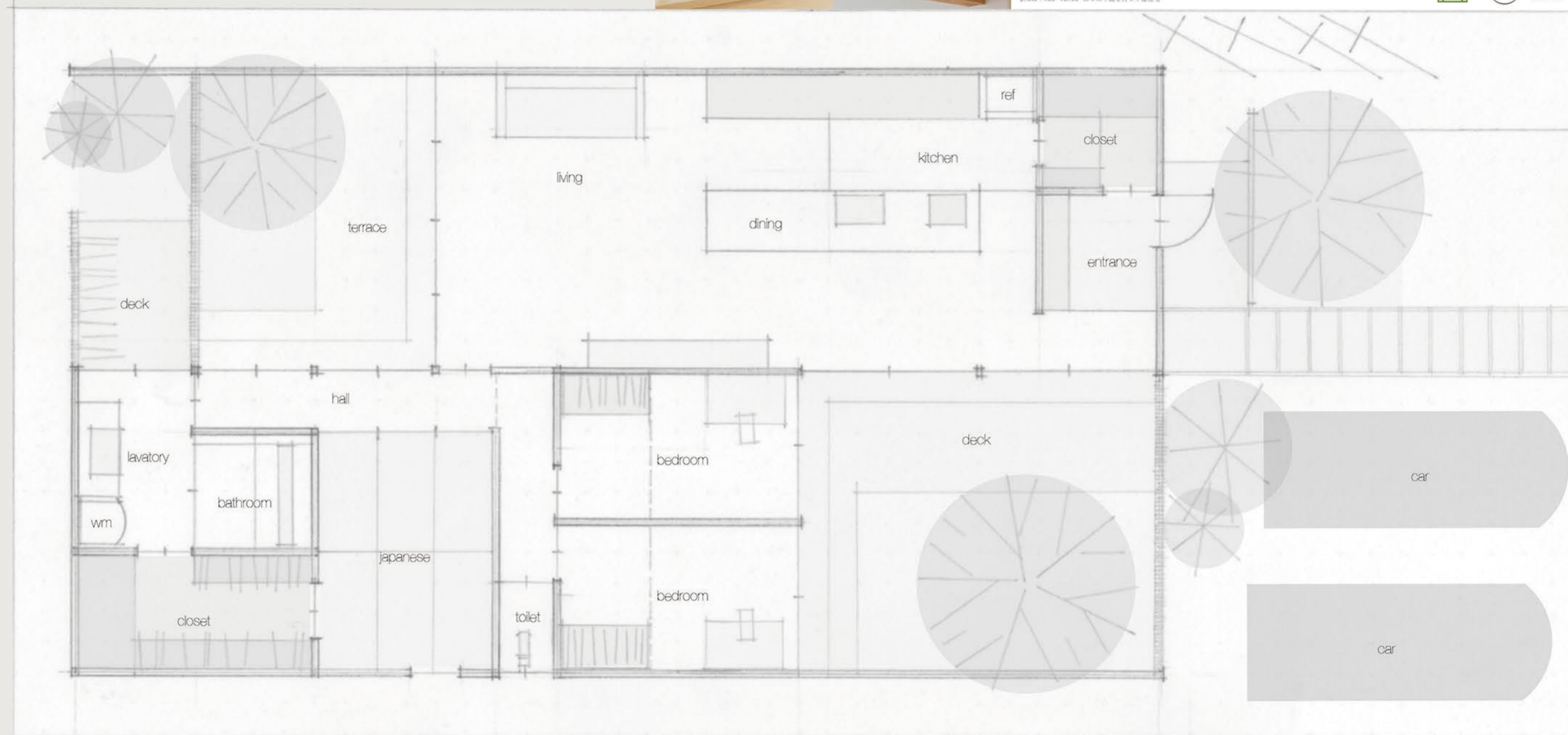
れば解釈の仕方によってどんな庭も「コート」ととらえる事が出来ます。屋外の外周を囲い、その外周に視線や音や光などのそれぞれが求めるレベルに応じたプライバシーやセキュリティを確保するための囲いを設ける事によって、屋内と屋外のしきりとなり得るカーテン等のウィンドウトリートメント無しで生活出来る可能性がでてきます。外周の囲いは塀であってもフェンスであっても時には緑であっても構わず、内側のプライバシーとセキュリティが確保される事が何よりも重要です。カーテンという材料が無くなるだけなのですがこの効果は大きく、通常の屋内と屋外はそれぞれ別の空間ではなく、屋内+屋外という一体化された空間として意味をもってきます。ここで重要となってくるのは、実は屋内空間よりも屋外空間の豊かさとなるのですが、ほとんどのお施主様がそうである様にプロである私達もまた屋内の環境ばかりに目を向けてしまいがちです。屋内空間が常に動きの少ない静なのに対して屋外は常に動な空間であり、昼夜の明るさの変化はもとより一年を通して季節ごとに太陽の陽を受け色を変えたり、風によって揺れ動く木々の葉やそれによって動く影、天候によって表情を変える床面の色あいなど、屋外には生活の中で豊かさをもたらしてくれるもので満ちています。利便性を求めれば違った回答となるとと思いますが、生活にゆとりや豊かさを求めるならば屋内空間の床面積を増やす事よりも屋外空間が豊かで気持ちよいスペースである事の方が大切な事なのではないかと、考えながら設計させていただきました。



photo : neo- vol.98 二つの中庭を持つ平屋住宅



photo : neo- vol.98 二つの中庭を持つ平屋住宅



Construction / Ikeda koumuten co.,ltd.  
Architect / polar star design architect office : neo-brain

IKEDA KOU MUTEN co.,ltd.  
309 Kamiyokokuracyo,Utsunomiya-shi Tochigi 321-2112 Japan Phone:028-665-3088



photo : neo- vol.98 二つの中庭を持つ平屋住宅

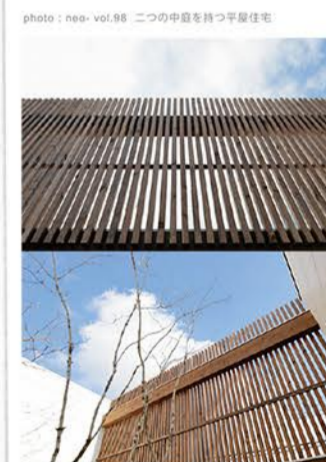


photo : neo- vol.98 二つの中庭を持つ平屋住宅

## 今回の完成建物見学会は、完全予約制とさせていただきます。

二つの中庭を持つ平屋住宅「完成見学会」○開催期間・時間:1月23日[土]・24日[日] 午前10時~午後5時迄 ○開催場所:栃木県宇都宮市泉ヶ丘  
◎見学のご予約はメールにてお願いします。▶ [ h.tomura@k-ikeda.net ] にご希望見学日時・人数をご記入の上、送信ください。追って、地図及び招待状をお送りさせていただきます。なお、当日ご予約の場合は→こちらの番号[080-3541-8883(現地担当)]に直接お電話もしくは、SMSでご連絡ください。

## 是非、イケダ工務店の家造りをごゆっくりとご堪能ください。

◎資料請求・その他のお問い合わせは、右記メールでも承ります。h.tomura@k-ikeda.net ※ホームページ内からも資料請求が出来ます。 http://www.kk-ikeda.net

住む人と匠のこだわりは、美しい佇まいを生む。



本社/宇都宮市上横倉町309 〒321-2112 TEL.028-665-3088 (代) FAX.028-665-3006  
東京事務所/東京都渋谷区初台1-40-12 〒151-0061 TEL.03-6276-4181(代) FAX.03-6276-4338

